



発行 真宗大谷派 高山教務所
発行者 出雲路 善公
〒506-0857 高山市鉄砲町6番地
☎(0577)32-0776
*毎月20日発行 50,000部
三市一郡無料配布
印刷 山都印刷株式会社

念じられ 照らされて

〈オトキ〉という場

安藤 弥



〔略歴〕
一九七五年生まれ。岡崎教区第7組浄専寺候補衆徒。同朋大学文学部仏教学科教授・同朋大学仏教文化研究所所長。

大根・こんにゃく・人参・椎茸・ひろうす・いも・まめ・ほうれん草・おから・たくあん・御飯・みそ汁…

私が生まれ育った寺の報恩講や祠堂法要における御齋(オトキ)の内容



安藤氏のお寺・浄専寺報恩講の御齋<オトキ>

御齋は地区ごとに当番に出てもらい、朝から準備し、お給仕から後片付けまでしていただく。各地区で微妙に味付けの個性がある。今は御齋をいただく子どもたちを見つめるご門徒さんたちのあたたかなまなざしをありがたく、うれしく思っている。

である。子どものころ、庫裏の広間でご門徒さんたちと一緒に御齋を食べるのは気恥ずかしくもあった。けれど、普段とはちょっと違う内容とみそ汁の味付け、お精進の特別感もあった。時は経ち、今は御齋をいただく子どもたちを見つめるご門徒さんたちのあたたかなまなざしをありがたく、うれしく思っている。

性が高い、それもまた楽しみである。御齋当番はなかなか大変で継続が難しいけれども、何とかこれからも…と願っている。最近、御齋(オトキ)という場を持つ意味について、あらためて考える機会が多い。

縁あって同朋大学などで学生さんたちと一緒に学んでいるが、講義などのどこかで必ず「オトキって知っている人？」と聞く。しかし、ほとんど手の挙がらないことが多い。知らなかったなら今から知ればいい…。そこでよく話題にするのが宮崎駿監督のアニメ映画『もののけ姫』である(もつとも『もののけ姫』自体、公開された一九九七年以降に生まれた学生がいる時代なので、まれに映画解説自体から始めることもある…)。

け姫』自体、公開された一九九七年以降に生まれた学生がいる時代なので、まれに映画解説自体から始めることもある…。注目してほしいのは、物語の終盤、タタラ場が武士たちに襲われ、夜明けに甲六の妻と身体に白い包帯をぐるぐる巻いた女性が語り合う場面である。包帯の女性は修理した石火矢を渡した後、さらに懐から何かを取り出し渡す。甲六の妻はそれを無造作に受け取って一緒に食べる。

『もののけ姫』に出てくるこの包帯を巻いた人たちがハンセン病患者を描いていたということは最近、宮崎監督自身が確言した。歴史上、いわれなき差別を受けてきた人たちである。差別のある歴史的現実においては、被差別民が差し出した食べものが受け取られ、食べられることとはないといわれる。

しかし、甲六の妻は自然に受け取ってそれを食べる。二人の間に差別はなく、食べるという生きるために必要な根源的行為を、人間として対等の関係でしている。

だから、彼女の名前は〈オトキ〉なのである。そこに集う人たちが仏前

において、歴史的な身分の上下なく、対等の関係で食べるところである。『もののけ姫』におけるこのさりげない描写に、差別なき世界への願いを込めた宮崎監督のメッセージがあるのではないかと思っている。



飛騨一部地域に残る“たかたかまんま”

どうざしき 動座式を執り行います

高山別院の耐震補強工事に伴い、本堂に安置されているご本尊が庫裡ホールにお移りされます。

今後の仏事・法要は工事完了まで庫裡ホールにて執り行います。一生にあるかないかの御仏事、是非お参りください。

期日 11月8日(水) 午前11時から

御遠忌ブックフェアを開催中!!

場所 ブックスアイオー(岡本町)

10月1日(日)~11月中旬(予定)

田近書店(三福寺町)

10月28日(土)~11月中旬(予定)

親鸞聖人や浄土真宗に関係する書籍を幅広くたくさん置かせていただきますので、どうぞお手に取ってみてください。



飛騨御坊 御遠忌通信 ⑧

荘川桜が真宗本廟へ!

以前、本紙の「伝承散歩」(2015年4月20号)でも取り上げました「荘川桜」の苗木が、京都の真宗本廟(東本願寺)へ移植されることが決定しました。

荘川桜は、1952年、白川村・荘川村に御母衣ダムが建設されるにあたり、湖底へ沈むことになった荘川村中野の照蓮寺と光輪寺に咲いていた桜です。ダム建設に伴い、照蓮寺は高山の城山へ、光輪寺は関市へ移ることとなりましたが、桜は当初そのままダムの底へ沈む予定でした。しかし電源開発会社の初代総裁・高橋達之助氏が「何とかこの桜を救いたい」と尽力され、その命が繋がれたのです。

ダムの水面上に位置する丘に移植されたこの桜は、春になると今でも美しく咲き誇ります。高山と各地をつなぐ架け橋として、この荘川桜は全国に約3400本移植されています。荘川桜にこめられた先人達の思いは真宗本廟にもつながれることになりました。



移植の為に根回しをしている荘川桜

☎テレホン法話(0577)(34)2313 ☎10月21日~31日:藤守頼章氏「憶念寺」 ☎11月1日~10日:白尾匡氏「長圓寺」

☎11月11日~20日:五辻元駐在教導「教務所」

宗教トラブル相談窓口(0577)3210763

定例法座 法話午後1時から

○10月21日(土)・細川眞氏「浄慶寺」

○10月27日(金)・高山別院輪番

○10月28日(土)・岩佐眞氏「浄永寺」

○11月11日(土)・高山別院輪番

○11月13日(月)・渡邊傳希氏「円因寺」

ひだご坊 報恩講

親鸞聖人の教えに
この私が出会うための法要

11月 1日 (水)	午後 1時 半	初逮夜 おんがくほうよう 音楽法要 法話 荒山 淳氏
	午後 7時	ご坊報恩講のつどい
2日 (木)	午前 7時	辰朝(お朝事) 法話 窪田 哲氏
	午前 10時	日中 全飛門徒 物故者追弔会 法話 荒山 淳氏
	午後 1時 半	大逮夜 どうほうしやうわ 同朋唱和 法話 荒山 淳氏
	午後 6時	御伝鈔拝読 第36回 別院真宗公開講座 講師 荒山 淳氏
3日 (金)	午前 7時	辰朝(お朝事) 法話 小原 正憲氏
	午前 10時	帰敬式(9時) 報徳会 再建永代経 子ども作品展表彰式(11時半)
	午後 1時 半	日中 満中 講師 荒山 淳氏

ご坊報恩講のつどい
— 中村久子没後50年特別事業 —

講談

「中村久子」

会場 高山別院 本堂

講談 一龍齋 春水氏

法話 三島 多聞氏(真蓮寺住職)

入場料 1,000円(学生無料)

中村久子氏とは…

1897(明治30)年、岐阜県大野郡高山町生まれ。3歳の時、凍傷がもとで「特異性脱疽」となり両手両足を切断。母の厳しいしつけによって、努力と独学を重ね、手足なき身でありながら文字を書いたり、縫物・編物をするなど、生活するためのあらゆることを習得。執筆・講演や施設の慰問活動を行い、全国の健常者・障がい者の如何を問わず、人々に生きる力と光を与え続けた。高山身障者福祉会初代会長。享年72歳。



講師 一龍齋 春水氏
北海道生まれ。声優として活躍しながら、講師一龍齋貞水に入門し、「声・演技・表現」等を追究する。2004年には真打ち昇進。

同朋唱和のお勤め

「同朋唱和」とは正信偈・念仏・和讃を僧侶と門徒のへだてなく、皆でいっしょに声を出してお勤めすることです。2019年の親鸞聖人御遠忌法要では、この同朋唱和でお勤めする座が設けられます。今年の報恩講でも2日の大逮夜に、真四句目下五濁でお勤めをしますので、『同朋唱和勸行集』(緑本)をお持ちの方は当日ご持参ください。いっしょにお勤めしましょう!

お齋 庫裡ホール

期日 11月2日(木)・3日(金) 昼

お齋料 1,500円

ご坊名物大根汁(無料)

期日 11月1日(水)～3日(金)

フリーマーケット

期日 11月1日(水)～3日(金)

抹茶接待(無料) 庫裡御殿

日時 11月1日(水)
午前11時～午後3時
主催 二木社中

玉翠会書道展 庫裡ホール

日時 10月28日(土) 午前9時～午後5時
10月29日(日) 午前9時～午後4時

お浚え

報恩講翌日のお朝事です。ぜひお参りください。
日時 11月4日(土) 午前7時～

子ども作品展 本堂

期間 10月19日(木)～11月3日(金)

毎年秋に行われております子ども報恩講ですが、2018年春に執り行います。詳細は追ってご連絡しますので、お楽しみに!

参拝送迎バス

11月2日・3日には別院報恩講参拝のためバスを運行します。乗車場所・時間等のお問い合わせ、お申し込みはお手次のお寺へお願いします。

【2日】白川村、荘川町、久々野町、一之宮町、飛騨市、国府町

【3日】清見町、下之切町、山田町、朝日町、丹生川町、下呂市

2017年度 第36回真宗公開講座

第1回 11月2日(木) 午後6時

荒山 淳氏(名古屋教区恵林寺副住職・名古屋教区教化センター主幹)
大悲に生きる - 悲しみが悲しみにつつまれるとき -

第2回 12月8日(金) 午後2時

木名瀬 勝氏(東京教区榊木願慈願寺住持・元同朋会館補導主任)
日本教からの解放

第3回 1月19日(金) 午後2時

玉光 順正氏(山陽教区光明寺住職・市川親鸞塾主宰)
在日浄土人として生きる

第4回 2月26日(月) 午後2時

柴田 すい子氏(東京都在住・ハンセン病の国家賠償訴訟原告)
「壁」を前に祈り、そして考えよう - 真宗・戦争・ハンセン病 -

大谷婦人会高山支部報恩講

日時 11月11日(土) 午後1時から
会場 高山別院 庫裡ホール
講師 高山別院輪番
※午後12時よりお齋があります。(1,000円)

ご回壇案内

【10月】 21日(土) 了宗寺 [荘川町]
【11月】 19日(日) 東等寺 [冬頭町]